

作成日 2020年 8月 7日

## 安全データシート

### 1 製品及び会社情報

化学品の名称	:	サンラック1000
本SDS該当の製品グレード	:	サンラック 1000
供給者の会社名称	:	本町化学工業株式会社
住所	:	東京都港区芝大門1-3-4
担当部門	:	営業部
電話番号	:	03-3434-5281
FAX番号	:	03-3434-5280
電子メールアドレス	:	info@honcho.co.jp
緊急連絡電話番号	:	03-3849-3737
推奨用途	:	除菌剤、消臭剤、防かび剤
使用上の制限	:	情報なし

### 2 危険有害性の要約

化学品のGHS分類 (本SDSは、JIS Z 7253:2019に基づき作成されております)

物理化学的危険性	:	分類基準に該当しない
健康に対する有害性	:	分類基準に該当しない
環境に対する有害性	:	水生環境有害性 短期(急性) サンラック 1000 ; 区分2 水生環境有害性 長期(慢性) サンラック 1000 ; 区分3

#### GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル	:	該当シンボル無し
注意喚起語	:	該当換気語なし
危険有害性情報	:	サンラック 1000 ; 水生生物に毒性 サンラック 1000 ; 長期継続的影響により水生生物に有害
注意書き	:	
【安全対策】	:	共通 ; 環境への放出を避けること。
【廃棄】	:	共通 ; 内容物や容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。

他の危険有害性 : 眼に入ると弱い痛みを起こす可能性がある。皮膚に付着し放置すると発赤や軽い刺激のおそれがあるので、付着したら速やかに水で洗浄すること。

重要な兆候及び想定される非常事態の概要 : 酸類を混合すると有毒な塩素ガスが発生するおそれがある。

### 3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分： 混合物（次亜塩素酸ナトリウム水溶液）

サンラック 製品グレード名	次亜塩素酸ナトリウムの 濃度（%）
サンラック 1000	0.1

次亜塩素酸ナトリウム； CAS No. 7681-52-9, 化審法番号/安衛法番号 (1)-237

GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物： 情報なし

## 4 応急措置

- 一般的に : 医師の診断を受ける場合、本SDSを持参し医師に提示すること。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所へ移動し、安静に休息させる。  
何らかの異常が認められたら、医師の診断を受けること。  
呼吸困難な場合は、酸素を与える。  
呼吸が止まった場合は、人工呼吸を施す。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類/靴を脱ぎ、汚染箇所を水で洗浄する。  
痛みなどの異常があれば医師の診断を受ける。  
汚染された衣類/靴は、再使用前に洗濯すること。
- 眼に入った場合 : 指で瞼を摘み上げ、約15分間水で注意深く洗うこと。痛みが取れない場合は、医師の診断を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 意識があれば水で口をゆすぎ、水を飲ませる。無理に嘔吐させない。意識がない場合は何も口に入れてはいけない。  
速やかに医師の診断を受けること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状 :

眼に入った場合、赤目、流涙の可能性はある。皮膚に付着した場合、発赤、軽い痛みのおそれがある。

医師に対する特別注意事項 : 脱塩素処理にはチオ硫酸ソーダ（ハイポ）水溶液を使用する。

## 5 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 本製品は不燃性である。
- 使ってはならない消火剤 : 炭酸ガス、酸性の消火剤
- 特有の危険有害性 : 火災の熱で、容器の内圧が上がり、破裂する恐れがある。  
火災に巻き込まれると、熱分解を起こし、刺激性の有毒な蒸気が発生するおそれがある。
- 特有の消火方法 : 消火作業に関係の無い人を安全な場所へ避難させる。  
風上の安全な距離から消火を行う。汚染された消火水が下水溝や河川に流出するのを防ぐ。危険がなければ容器を安全な場所へ移動する。移動できない場合は火災が終わるまで噴霧水をかけ冷却する。
- 消火を行う者の特別な保 : 自給式の呼吸器用保護具、消火用防護服を着用する。

## 護具及び予防措置

### 6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 十分な換気を行う。関係者以外と保護具を着用していない者を安全な場所へ避難させ、汚染範囲を立ち入り禁止とする。

作業者は、保護具を着用し眼や皮膚への付着、ミスト/蒸気などの吸入を防ぐ。

環境に対する注意事項 : 排水溝、下水、河川湖沼等の環境への流出を防ぐ。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 漏出物を不活性な吸収剤（砂、乾燥土、シリカゲル、珪藻土等）に吸着させ、廃棄用容器に回収する。

酸などと接触し塩素ガス発生のおそれがある場合は、チオ硫酸ソーダ水溶液で脱塩素/中和する。

二次災害の防止策 : 塩素臭が無くなるまで換気を続けること。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐこと。

### 7 取扱い及び保管上の注意

#### 取扱い

技術的対策 : 作業場は全体換気を行う。ガス、ミスト、蒸気が発生する場所は、局所排気装置を設置する。

保護手袋、保護メガネを着用し、眼や皮膚への暴露を防ぐ。

アルミニウムを腐食するおそれがあるので、アルミニウム製の器具や部品に本製品が接触するのを防ぐこと。

安全取扱注意事項 : 作業後及び食事、休憩、トイレへ行く前に手をよく洗う。

作業場での飲食喫煙を禁止とする。

酸類との接触を避ける。間違って混合した場合は速やかに消石灰や苛性ソーダで中和する。酸と混合した場合、塩素ガスが発生するのでハロゲン用防毒マスクを着用すること。

接触回避 : 高温、酸類、アルミニウム、重金属化合物

#### 保管

安全な保管条件 : 直射日光を避け、密栓し、涼しい換気の良い場所に保存する。

ラベルを汚さない。食品とは一緒に保管しないこと。

安全な容器包装材料 : ポリエチレン、PP、PVC等の合成樹脂。

アルミニウム製容器は避けること。

### 8 ばく露防止及び保護措置

管理濃度 : 未設定

許容濃度 : 日本産業衛生学会 ; 未設定

ACGIH ; 未設定

設備対策 : 作業場に換気/排気設備を設置する。  
取扱場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設ける。

#### 保護具

呼吸用保護具 : 換気が不十分な場合は、活性炭付きマスクを着用する。  
スプレー散布などで、ミストなどに長時間暴露のおそれがある場合は空気供給型保護マスクを着用する。

手の保護具 : 長時間の接触のおそれがある場合は、ゴム/塩ビ製等の手袋を着用する。着用前に傷の無いことを確認する。劣化に注意し早めに交換する。取り扱い後はすぐに手を洗うこと。

眼、顔面の保護具 : 保護眼鏡を着用する。ゴーグル型が好ましい。  
ミストや飛沫のおそれがある場合は、保護面を着用する。

皮膚及び身体の保護具 : 長袖保護服/安全靴を着用する。

特別な注意事項 : 作業中の飲食、喫煙は禁止する。  
皮膚に付着すると、アルカリ性のため肌が荒れるので、作業後は手をよく洗い、油性クリームを塗ると良い。

#### 9 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体

色 : 無色 透明

臭い : 僅かに塩素臭

臭いの閾値 : 情報なし

融点/凝固点 : 0 °C

沸点又は初留点及び沸騰 : 100 °C

範囲

可燃性 : 不燃性

爆発性 : 情報なし

爆発下限及び爆発上限界 : 上限 ; 情報なし  
/可燃限界 下限 ; 情報なし

引火点 : 不燃性

自然発火点 : 不燃性

分解温度 : 情報なし

p H : <11

動粘性率 : 情報なし

溶解度 : 水に混和

n-オクタノール/水分配係数 : 情報なし  
(log 値)

蒸気圧 : 情報なし

蒸気比重 : 情報なし

蒸発速度 : 情報なし

密度及び／又は相対密度 : 1.0 g/ml  
 金属腐食性 : 情報なし  
 その他のデータ : 情報なし

#### 10 安定性及び反応性

反応性 : 不安定で徐々に自然分解する傾向がある。  
 化学的安定性 : 加熱、空気、光、汚染により分解が促進される。  
 危険有害反応可能性 : 酸と反応し、有毒な塩素ガスが発生するおそれがある。  
 アルミニウム、鉄等の金属を徐々に腐食する。  
 避けるべき条件 : 直射日光、高温、酸、空気（炭酸ガス）  
 混触危険物質 : 酸類、重金属等の粉末  
 危険有害な分解生成物 : 火災や熱分解により、有毒な塩素ガスが発生するおそれがある。

#### 11 有害性情報

急性毒性 : サンラック 1000 ; 経口 雌ラット LD50 > 20 ml/kg  
 皮膚腐食性／刺激性 : サンラック 1000 ; ウサギによる皮膚刺激性実験結果は、紅斑が認められたが 24 時間以内に消失したので、分類基準に該当しないとした。  
 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : サンラック 1000 ; ウサギによる眼刺激性試験結果は、発赤が認められたが 24 時間以内に消失したので、分類基準に該当しないとした。  
 呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 情報なし  
 生殖細胞変異原性 : 情報なし  
 発がん性 : IARCにグループ3と登録されているので分類基準に該当しないとした。  
 生殖毒性 : 情報なし  
 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 濃厚な、若しくは長時間ミストや蒸気を吸入すると喉、鼻を刺激するおそれがある。  
 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 情報なし  
 誤えん有害性 : 情報なし

#### 12 環境影響

生態毒性 :  
 急性毒性 次亜塩素酸ナトリウム :  
 甲殻類 *ネゼミジンコ* EC50 = 0.005 mg/L-24h(塩素濃度)  
 NITE、EU CLP の急性毒性は区分 1 と分類されていることと、上

	記データに基づき区分1、M = 100 とした。
	以上の結果と製品濃度の計算に基づき、サンラック 1000 と 500 を区分2、サンラック 200 を区分3とした。
慢性毒性	次亜塩素酸ナトリウム； 魚類 ウグイ NOEC = 0.005 mg/L-133d NITE の慢性毒性も区分1 であるが、上記データに基づき M = 10 なので、成分濃度の計算に基づき、サンラック 1000 を区分2 とした。
残留性・分解性	: 次亜塩素酸ナトリウムは、自然界では徐々に分解する。
生態蓄積性	: 情報なし
土壤中の移動性	: 情報なし
その他の情報	: 情報なし
PBT , vPvB アセスメント	: 情報なし
オゾン層への有害性	: モントリオール議定書の付属書に記載されていない。

### 13 廃棄上の注意

安全で、かつ、環境上望ましい廃棄方法、又はリサイクルに関する情報：

廃原料、容器等の廃棄物は、国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。 残原料は、品質を損なう事が無く、可能であれば工程でリサイクルを行う。

下水や排水溝へ廃棄してはいけない。 廃棄物で土地や水系の環境汚染を起こしてはいけない。

空容器は、内容物を完全に除去してから廃棄、若しくは洗浄してリサイクルすることが望ましい。

### 14 輸送上の注意

国際規制

海上輸送 (IMDG)	: 規制を受けない
国連番号	: 該当番号無し
品名(国連輸送名)	: ー
国連分類	: 危険物分類に該当しない
容器等級	: ー
海洋汚染物質	: No

MARPOL 73/78 付属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質：情報なし

航空輸送 (ICAO/IATA)	: 規制を受けない
国連番号	: 該当番号無し
品名(国連輸送名)	: ー
国連分類	: 危険物分類に該当しない
容器等級	: ー

国内規制

海上規制情報	:	船舶安全法危規則に従う
航空規制情報	:	航空法に従う
陸上規制情報	:	道路法に従う
特別の安全対策	:	運搬に際しては容器から漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、破損の無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
応急措置指針番号	:	—

## 15 適用法令

### 国内法令

化学物質管理促進法	:	非該当
労働安全衛生法		
表示対象物質	:	非該当
通知対象物質	:	非該当
有機則	:	非該当
労働基準法	:	非該当
化審法	:	特定・監視・優先評価化学物質に該当しない
毒物及び劇物取締法	:	非該当
消防法	:	非該当
高压ガス保安法	:	非該当
火薬類取締法	:	非該当
船舶安全法 危規則	:	非該当
航空法	:	非該当
海洋汚染防止法	:	有害液体物質 Y類：次亜塩素酸ナトリウム溶液
水質汚濁防止法	:	指定物質；次亜塩素酸ナトリウム

## 16 その他の情報

引用文献等	独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE) の化学情報 国際化学物質安全性カード (ICSC) 情報 (WHO/IPCS/ILO) 日本産業衛生学会 (2018) 許容濃度等の勧告 化学物質毒性評価リスト (NIOSH/RTECS) International Uniform Chemical Information Database (IUCLID) 化学商品 (化学工業日報社) 2019 年版 JIS Z 7253:2019 化学品の分類および表示に関する世界調和システム (GHS) (化学工業日報社) 等
-------	--

記載内容の問い合わせ先：

<記載内容の取扱>

本安全データシート (SDS) は現時点で入手できる最新の資料、データ等に基づいて作成しており、

新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS 中の注意事項は通常の手扱いを対象としたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途・使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、当社は SDS 記載内容について十分に注意を払っておりますが、その内容を保証するものではありません。

以上